

神代文字

拍手塾では数霊を学び、今、言霊を学んでいます。
私の究極の数霊を調べると6となります。6が私のトラウマなのです。トラ

がウマになる。何のことかと調べて見ると・・・。

トラウマとは、個人にとって心理的に大きな打撃を与え、その影響が長く残るような体験。精神的外傷。外傷体験。と出ています。単に「傷」を意味するギリシア語であったトラウマを、フロイトが物理的な外傷が後遺症となると同様に、過去の強い心理的な傷がその後にも精神的障害をもたらす事を「精神分析入門」において発表したのが始まりだそうです。フロイトは陰から陽が生まれるという東洋思想をヒントにしたのかもしれない。

トラウマのトラは易学の八の場で、北東、鬼門の方向に位置する干支の寅から来ています。その場は見えない世界、鬼の棲む陰の極みの世界、心の世界です。ウマはその精神世界の傷が、ひな

形となり現象の世界に表われてくる。現象化する、顕現する場であり数字では九の場であり、干支では午の場に位置します。フロイトはギリシア語の「傷を意味するトラウマ」を精神的な外傷が形に表われてくる病気の因果関係として捉えたのです。トラがウマになるのトラウマは実は日本語でした。弟子のユングはもともと東洋思想に傾倒していききました。

はるか古代からの日本の文字が遠くギリシャやエジプトなど世界に広まった事がわかります。ルーツはすべて日本なのです。日本語の最初は神代文字（かみよもじ）です。「神の代わりの字」です。「字」を分解するとウ冠に子と書きます。字は宇宙の子供です。宇宙のエネルギ、神さまと呼ぶべき存在から創り出され、私たちに与えてくれたのです。古代のシャーマン達が神との対話を通じて、神さまの代わりに伝える文字として残してくれたのが神代文字です。

○や△や十など記号にしか見えない字が沢山残っています。先日の拍手塾ではこの神代文字を書いてお守り札を作る実習授業がありました。神様の代わりに守ってくれる文字、納得すれば、本当に有難く、もの凄く効果があります。

拍手塾アシスタント 三木文佑

す。神様がお札に入っておられる。受講生の皆さん真剣にお札を書いていました。

その神代文字からカタカナができて、アイウエオから始まる50音が残されています。50音のアと発音すればシャーマンには何を言っているかが理解できたそうです。

神様との対話を少しでも出来るように、もともと日本語のルーツを学び、見える世界に貢献したいものです。



鑑定士No.1001

京都伏見 御香宮神社前占い処 (毎週木曜日、金曜日)、京都中京区六角田中医院内健康サロン (毎週火曜日) にて鑑定しております。ご予約 090-5154-0515

拍手塾 予備校

拍手塾への登竜門

3月21日 (土・祝) 14時～15時まで

受講料 2,500円

拍手塾の基礎をお伝えいたします。

担当：金井久子・村岡純子

拍手塾

かしわでじゅく

2月の拍手塾は休講です。

次回は

3月21日 (祝・金)

16時00分～19時00分

場所：京都伏見竜馬通りカムスホール

受講料：8400円 (非会員 9240円)

参加ご希望の方は、

075-621-5522まで

